



Add-On Effects インストールガイド

はじめにお読みください

このたびは、Add-On Effectsパッケージをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。

Add-On Effectsは、お使いのデジタルコンソールに高品質なエフェクトプログラムを追加して使用できるソフトウェアパッケージです。Add-On Effectsの優れた機能を十分に発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、このインストールガイドをご使用の前に必ずお読みください。

- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドの著作権はすべてヤマハ株式会社が所有します。
- ・ 巻末にこのソフトウェアのご使用条件が記載されています。このソフトウェアをインストールする前に、必ずこのご使用条件をお読みください。ディスクの包装を解かれた場合は、このソフトウェアのご使用条件に同意したことになります。
- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ 市販の音楽データは、私的使用のための複製など著作権法上問題にならない場合を除いて、権利者に無断で複製または転用することを禁じられています。ご使用時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。
- ・ このソフトウェアおよびインストールガイドを運用した結果およびその影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- ・ このソフトウェアのCD-ROMは、オーディオ用ではありません。一般のオーディオ用CD プレーヤーでは絶対に使用しないでください。
- ・ このインストールガイドに記載されている画面やイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ アプリケーションのバージョンアップなどに伴うシステムソフトウェアおよび一部の機能や仕様の変更については、別紙または別冊で対応させていただきます。
- ・ 仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- ・ この取扱説明書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
* OMSは、Opcode Systems, Inc.の商標です。

目次

パッケージについて	2
パッケージの内容	2
マニュアルの構成	2
CD-ROM の内容	2
Add-On Effects のインストール	2
動作環境	2
インストールの流れ	3
直接インストール	4
間接インストール	6
直接デオーソライズ	8
間接デオーソライズ	9
エラーメッセージリスト	11
トラブルシューティング	12
ソフトウェアのご使用条件	13

ヤマハプロオーディオホームページ:

<http://proaudio.yamaha.co.jp/>

パッケージについて

パッケージの内容

Add-On Effectsのパッケージには、以下のものが同梱されています。ご使用になる前に必ずご確認ください。

- ・ CD-ROM 1枚
- ・ Add-On Effectsインストールガイド(本書)

マニュアルの構成

- Add-On Effectsインストールガイド (本書)

はじめに、パッケージの内容、動作環境、Add-On Effectsのインストール方法をご確認ください。

- 各Add-On Effects取扱説明書 (PDF形式)

お買い上げのパッケージに付属の各エフェクトプログラムを説明しているPDF形式のマニュアルです。「Useguide_」フォルダの中の「Japanese」フォルダの中に入っています。エフェクトの一般的な操作については、お使いのコンソールに付属の取扱説明書をご参照ください。

CD-ROMの内容

- ヤマハUSB-MIDI Driver

コンピューターとコンソールのUSB端子を接続するために必要なドライバーです。Add-On Effectsをインストールする前にインストールしておいてください。Mac OS 9をお使いの場合は、あらかじめOMSをインストールしてからヤマハUSB-MIDI Driverをインストールしてください。

インストール方法については、Studio Managerインストールガイドをご参照ください。

- インストーラー (System Software Installer)

お買い上げのAdd-On Effectsをインストールするためのインストーラーです。

- 各Add-On Effects 取扱説明書(PDF形式)

「Useguide_」フォルダには、各エフェクトプログラムごとのPDF形式の取扱説明書が入っています。

NOTE: PDFマニュアルをご覧になるには、コンピューターにAdobe Reader(無償)がインストールされている必要があります。Adobe Readerをお持ちでない方は、下記URLからAdobe社のページを開き、Adobe Readerをダウンロードしてください。Mac OS Xをお使いの場合は必要ありません。
<http://www.adobe.co.jp>

Add-On Effectsのインストール

動作環境

Add-On Effectsをインストールするためには、以下のコンピューターとインターネット接続環境が必要です。

NOTE: お使いのOSによっては、下記の仕様以上の条件を満たす必要があります。

NOTE: お使いのコンソールのシステムソフトウェアがV2.0以上である必要があります。ただし、必要なシステムソフトウェアのバージョンは、お買い上げのパッケージによって異なります。

- Windows

OS: Windows 98SE, Me, 2000, XP Home Edition, XP Professional

コンピュータ: 433MHz以上のIntel PentiumまたはCeleron ファミリープロセッサ搭載のPC (USB端子装備)

メモリー: 128 MB 以上

ハードディスク: 10 MB以上の空き容量

ディスプレイ: 1024 × 768 ピクセル、256 色以上 (High Color16 ビット以上推奨)

その他: インターネット接続、Internet Explorer 5.0以上

- Macintosh

OS: Mac OS 9.0 ~ 9.2.2, Mac OS X 10.2以上

コンピュータ: Power Macintosh G3/233MHz以上 (USB端子装備)

メモリー: 16 MB以上の空きメモリー (仮想メモリーはオフにしてください)

ハードディスク: 10 MB以上の空き容量

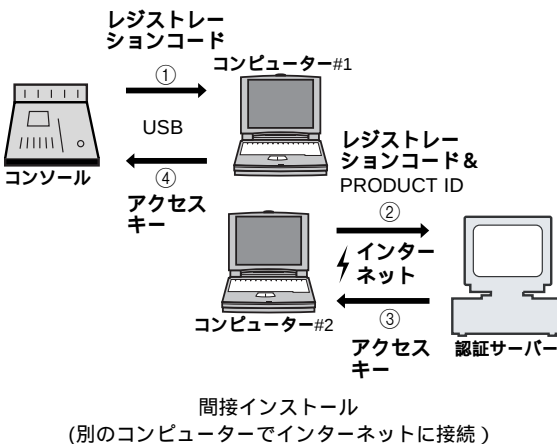
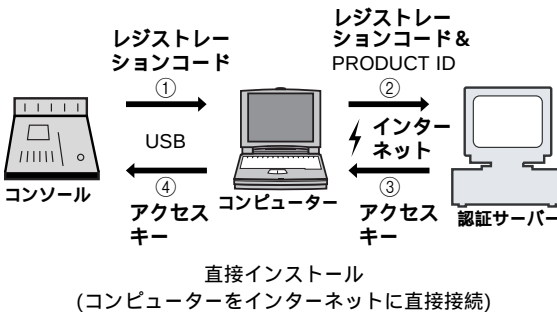
ディスプレイ: 1024 × 768 ピクセル、256 色以上 (32,000色以上推奨)

その他: インターネット接続、OMS 2.3.3以上(Mac OS 9の場合)

NOTE: Mac OS 9.0をお使いの場合は、「URL Access」をアップデートする必要があります。詳しくは、アップルコンピュータ社のダウンロードサイトをご覧ください。

インストールの流れ

お使いのコンピュータ環境に応じて、以下の2種類のインストール方法(直接インストール、間接インストール)があります。通常は、直接インストール(コンピュータを直接インターネットに接続してインストールする方法)をおすすめします。



*上の図の丸数字はインストールの作業順を示しています。

NOTE: 一度インストールしたAdd-On Effectsのライセンスをデオソライズ(8ページ)し、別のコンソールにインストールすることもできます。

□ PRODUCT ID (プロダクトID)

お買い上げのソフトウェアパッケージごとに固有の番号です。アクセスキーを取得するために必要です。CD-ROMケースのシールに表示されています。

□ レジストレーションコード

お使いのコンソールごとに固有の番号です。アクセスキーを取得するために必要です。お使いのコンソール内部の情報から自動的に作成されます。別のパッケージをインストールする場合は、別の番号になります。

□ アクセスキー

Add-On Effectsをインストールするために必要です。

PRODUCT IDとレジストレーションコードを使って、インターネット経由で認証サーバーから取得します。

NOTE: レジストレーションコードとアクセスキーは、紛失しても取得し直すことができます。その場合、PRODUCT IDが必要になりますので、インストール後もPRODUCT IDは大切に保管してください。

! インストールのご注意

- ・ 1台のコンソールにのみインストールできます。
- ・ インストール作業は、お客様ご自身の責任において行なってください。
- ・ インストール作業中にコンソールの電源を切ったり、ケーブルを抜いたり、このマニュアルに記載された手順と異なった操作をしたりすると、コンソールが故障する場合がありますのでご注意ください。
- ・ このソフトウェアは、USB接続したコンピュータからAdd-On Effectsをインストールするためのプログラムです。また、ヤマハUSB-MIDI Driver以外のドライバーでは実行できません。
- ・ インストール作業中にケーブル不良などの原因でインストールに失敗した場合、コンソールの電源を入れ直すと通常のモードではなくFLASH UPDATEモードで起動します。この場合は、ケーブルを交換してもう一度インストールを実行してみてください。
- ・ インストールに失敗し、もう一度インストールを実行してもコンソールが正しく動作しない場合は、巻末のヤマハインフォメーションセンターにお問い合わせください。
- ・ インストールを実行する前に、すべてのアプリケーションプログラムを終了しておいてください。また、インストール実行中は、別のプログラムを実行したり、ウィンドウを切り替えたりしないでください。
- ・ 省電力モードなどでコンピュータが待機状態になると、コンソールへのデータ転送が止まる場合があります。待機状態に移行しないように設定しておいてください。
- ・ ヤマハUSB-MIDI Driverをあらかじめインストールしておいてください。インストール方法については、Studio Managerインストールガイドをご参照ください。
- ・ ヤマハUSB-MIDI Driverのスルー設定がオフになっていることをご確認ください。
(Windowsの場合:「コントロールパネル」→「MIDI-USB Driver」→「Thru ON/OFF」をオフ)
(Macintoshの場合:「アップルメニュー」→「コントロールパネル(システム環境設定)」→「YAMAHA USB MIDI Patch」→「Thru ON/OFF」をオフ)
- ・ コンソール以外のUSB機器(USBマウスやUSBキーボードは除く)は、接続しないでください。また、コンソールはUSBハブを経由せず、直接コンピュータのUSB端子に接続してください。

直接インストール

コンピューターを直接インターネットに接続している場合は、以下の手順でインストールしてください。別のコンピューターでインターネットに接続する場合は、6ページをご参照ください。

NOTE: 以下ではWindows 2000からDM2000にインストールする場合の画面を用いて説明しますが、基本的なインストール手順はOSやコンソールにかかわらず共通です。OSによって異なる操作のみ補足します。

NOTE: エラーメッセージが表示された場合は、11ページのエラーメッセージリストをご参照ください。

1 コンピューターを起動して、以下の準備が完了していることを確認します。

- ・ コンピューターにヤマハUSB-MIDI Driverをインストール(別冊のStudio Managerインストールガイドを参照)
- ・ コンピューターをインターネットに接続
- ・ コンソールのシステムソフトウェアがV2.0以上(PM5Dでは確認不要)

NOTE: このとき、コンピューターとコンソールはまだ接続しないください。

2 コンソールの以下のキーを押しながら、コンソール本体の電源を入れます。

ディスプレイに「FLASH UPDATE」と表示されるまで、キーを押し続けてください。

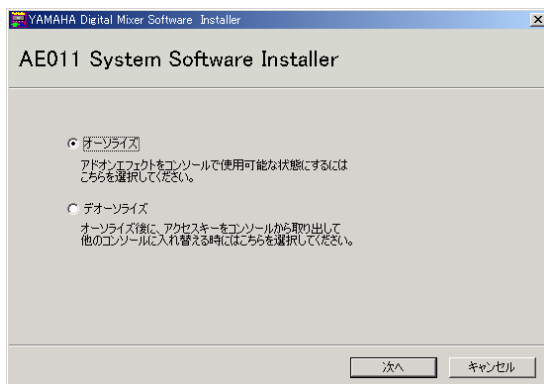
DM2000: トランスポートの[REC]キー
02R96: MACHINE CONTROL [REC]キー
DM1000: MONITOR [CLEAR]キー
01V96: SOLO [CLEAR]キー
PM5D: SCENE MEMORY [RECALL]キー

3 ディスプレイに「FLASH UPDATE」と表示されているのを確認してから、USBケーブルでコンピューターとコンソールを接続します。

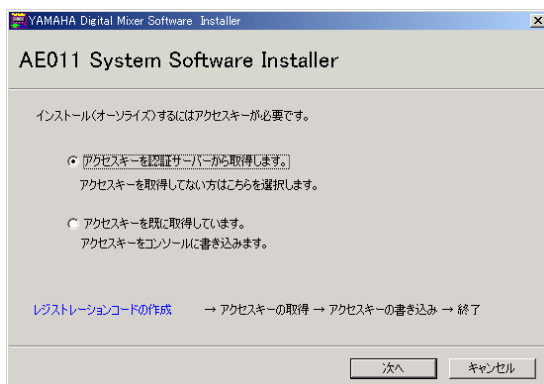
4 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入します。

5 CD-ROMドライブの中の「Upgrade」フォルダ(Mac OS 9の場合は「Mac OS 9: Upgrade」フォルダ、Mac OS Xの場合は「Mac OS X: Upgrade」フォルダ)をフォルダごとハードディスクにコピーします。

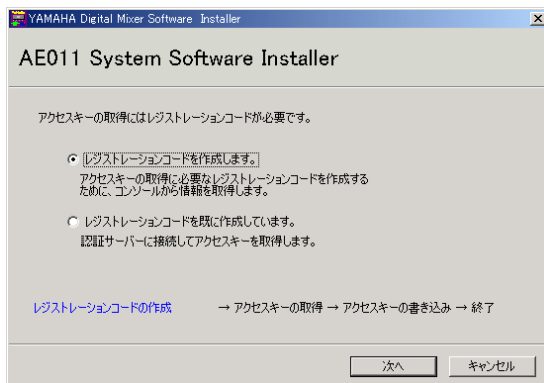
6 ハードディスクにコピーした「Upgrade」フォルダの中の「DMUpgrade.exe (Mac OSはAE***UpgradeJ)」をダブルクリックします。
インストーラーの画面が表示されます。



7 「オンソライズ」を選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



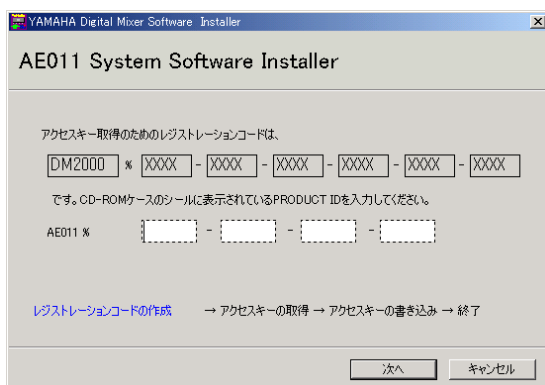
8 「アクセスキーを認証サーバーから取得します」を選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



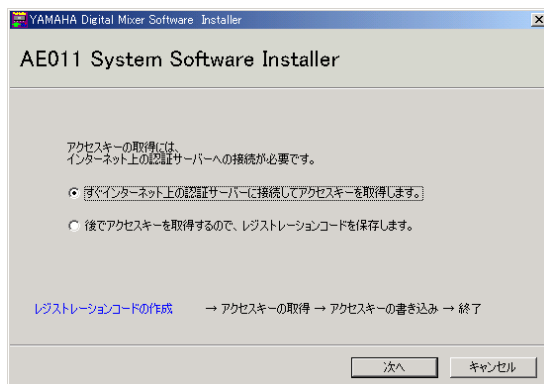
- 9 「レジストレーションコードを作成します」を選択して、[次へ]をクリックします。
入出力ポートの設定画面が表示されます。



- 10 入力ポートに「YAMAHA USB IN 0-1」、出力ポートに「YAMAHA USB OUT 0-1」が選択されていることを確認して、[次へ]をクリックします。
「コンソールに接続中です」というメッセージが表示されたあと、レジストレーションコードを表示します。
Mac OS 9をお使いの場合は、入力ポートに「xxxx-1 (xxxx にはお使いのコンソール名が入ります)」、出力ポートに「xxxx-1 (xxxx にはお使いのコンソール名が入ります)」を選択します。ただし、OMSのセットアップファイルによって、ポート名は異なります。



- 11 CD-ROMケースのシールに表示されているPRODUCT IDを入力して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



NOTE: 入力したあと、PRODUCT IDは大切に保管してください。レジストレーションコードやアクセスキーを紛失しても、PRODUCT IDがあればインストールをやり直すことができます。

- 12 「今すぐインターネット上の認証サーバーに接続してアクセスキーを取得します」を選択して、[次へ]をクリックします。
「アクセスキーを取得します」という画面が表示されます。
- 13 インターネットに接続できる準備ができていることを確認して、[次へ]をクリックします。
認証サーバーに接続して、アクセスキーを取得します。
- 14 アクセスキーを取得すると以下の画面が表示されます。



- 15 「今すぐアクセスキーを書き込みます」を選択して、[次へ]をクリックします。
入出力ポートの設定画面が表示されます。
- 16 手順8と同じ入出力ポートを選択して、[次へ]をクリックします。
進行状況を示すダイアログが表示されて、Add-On Effectsをインストールします。

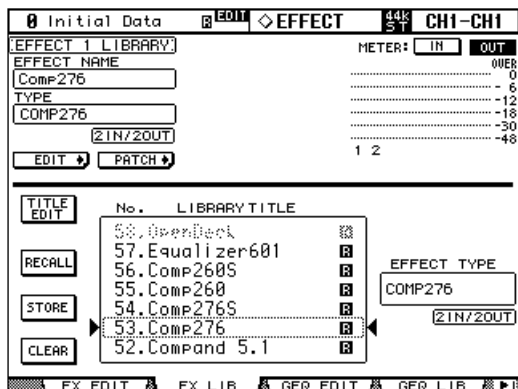
17 インストールが完了すると、以下の画面が表示されます。



18 「読んで、オンラインユーザー登録を行ないます」を選択して、[終了]をクリックします。
ブラウザが起動して、ユーザー登録のページが開きます。ユーザー登録を行なうことにより、さまざまな情報やサポートを受けることができます。

19 コンソールの電源を入れ直します。
コンソールが通常のモードで起動します。

20 EFFECT LIBRARYページを表示して、お買い上げのAdd-On Effectsが表示されていてリコールできることを確認します。



以上でインストールは完了です。

NOTE: 繰り返してインストールする場合は、必ずコンソールの電源を入れ直して手順2からやり直してください。

間接インストール

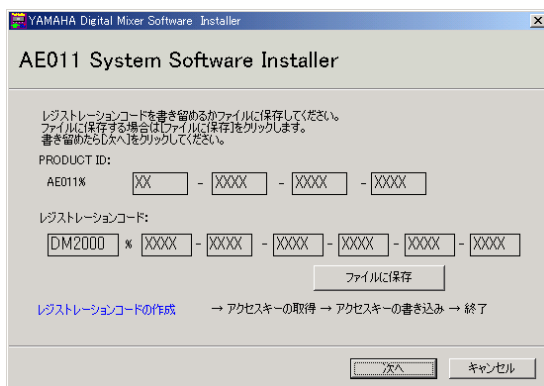
コンソールに接続しているコンピューター#1とは別のコンピューター#2でインターネットに接続している場合は、以下の手順でインストールしてください。

NOTE: 以下ではWindows 2000からDM2000にインストールする場合の画面を用いて説明しますが、基本的なインストール手順はOSやコンソールにかかわらず共通です。OSによって異なる操作のみ補足します。

NOTE: エラーメッセージが表示された場合は、11ページのエラーメッセージリストをご参照ください。

コンピューター#1で、直接インストールの手順1～11を実行して(4ページ)、以下にお進みください。

12 「後でアクセスキーを取得するので、レジストレーションコードを保存します」を選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



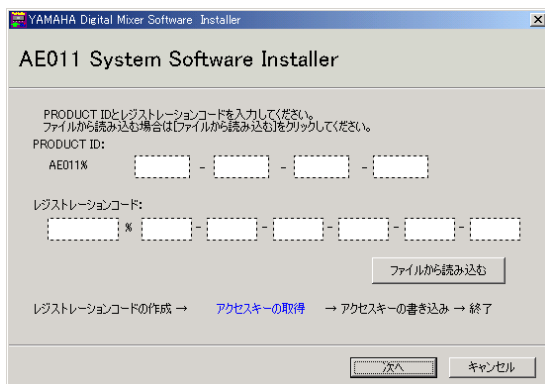
13 [ファイルに保存]をクリックして、PRODUCT IDとレジストレーションコードをテキストファイルに保存します。
紙に書き留めてもかまいません。

14 保存したテキストファイルをインターネットに接続したコンピューター#2にコピーします。
以下はコンピューター#2での操作です。

15 コンピューター#2で、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して、「Upgrade」フォルダ(Mac OS 9の場合は「Mac OS 9:Upgrade」フォルダ、Mac OS Xの場合は「Mac OS X:Upgrade」フォルダ)をフォルダごとハードディスクにコピーします。

16 ハードディスクにコピーした「Upgrade」フォルダの中の「DMUpgrade.exe(Mac OSはAE***UpgradeJ)」をダブルクリックします。
インストーラーの画面が表示されます。

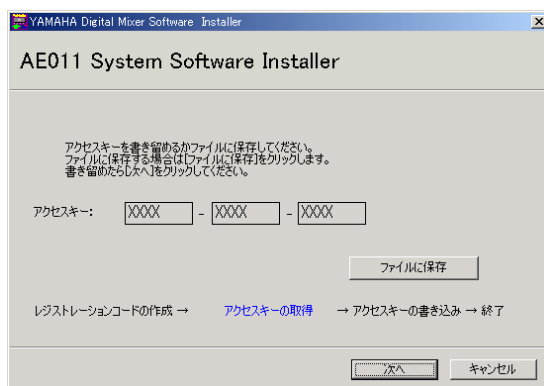
- 17 「オーソライズ」→「アクセスキーを認証サーバーから取得します」→「レジストレーションコードを既に取得しています」の順に選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



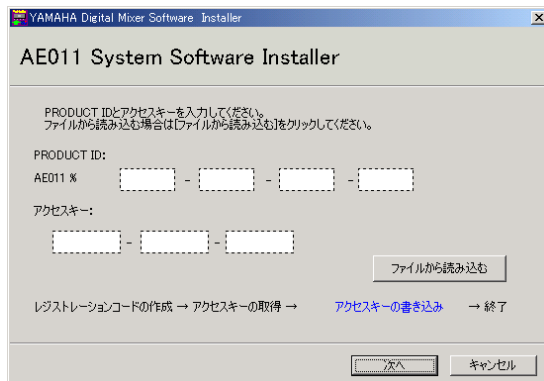
- 18 [ファイルから読み込む]をクリックして、手順13で保存したテキストファイルを読み込みます。
紙に書き留めた場合は、キーボードから入力してください。
- 19 PRODUCT IDとレジストレーションコードが表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。
「アクセスキーを取得します」という画面が表示されます。
- 20 インターネットに接続できる準備ができていることを確認して、[次へ]をクリックします。
認証サーバーに接続して、アクセスキーを取得します。
- 21 アクセスキーを取得すると以下の画面が表示されます。



- 22 「後で書き込むのでアクセスキーを保存します」を選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



- 23 [ファイルに保存]をクリックして、アクセスキーをテキストファイルに保存します。
画面を見ながら紙に書き留めてもかまいません。
- 24 保存したテキストファイルをコンソールに接続したコンピューター#1にコピーします。
以下はコンピューター#1での操作です。
- 25 インストーラーを起動して、「オーソライズ」→「アクセスキーを既に取得しています」の順に選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



- 26 [ファイルから読み込む]をクリックして、手順23で保存したテキストファイルを読み込みます。
- 27 アクセスキーが表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。
入出力ポートの設定画面が表示されます。
- 28 手順9と同じ入出力ポートが選択されていることを確認して、[次へ]をクリックします。
進行状況を示すダイアログが表示されて、Add-On Effectsをインストールします。

YAMAHA Digital Mixer Software Installer

AE011 System Software Installer

インストールが完了しました。

インストーラーを終了します。

☒ 読んで、オンラインユーザー登録を行います。

インターネットに接続して、ユーザー登録を行ないます。
 今すぐユーザー登録を行なわない場合は、チェックを外してください。

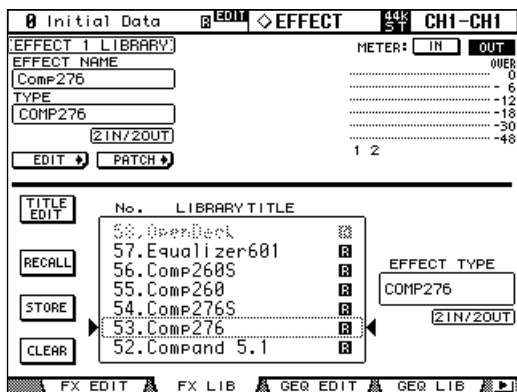
レジストレーションコードの作成 → アクセスキーの取得 → アクセスキーの書き込み → **終了**

終了

インターネットに接続しているコンピューターで以下のページにアクセスして、ユーザー登録することをおすすめします。ユーザー登録を行なうことにより、さまざまな情報やサポートを受けることができます。

NOTE: レジストレーションコードおよびアクセスキーは、インストール完了後は無効になります。再インストール時のトラブルを防ぐため、インストールの完了を確認したら、保存してあるレジストレーションコードおよびアクセスキーのテキストファイルは削除することをおすすめします。

32 EFFECT LIBRARYページを表示して、お買い上げのAdd-On Effectsが表示されていてリコールできることを確認します。

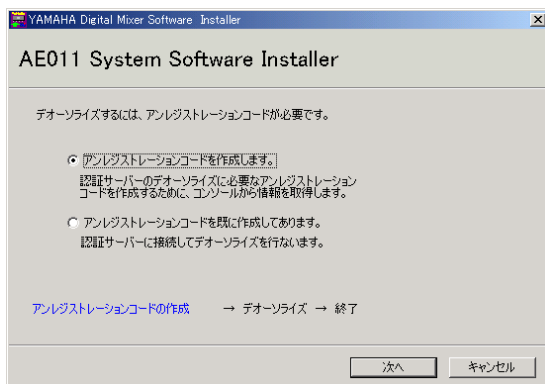


NOTE: 繰り返してインストールする場合は、必ずコンソールの電源を入れ直して手順2からやり直してください。

一度インストールしたAdd-On Effectsのライセンスを別のコンピュータに移したい場合は、ライセンスをデオソライズする必要があります。コンピュータを直接インターネットに接続している場合は、以下の手順でデオソライズしてください。別のコンピュータでインターネットに接続する場合は、9ページをご参照ください。

直接インストールの手順1～6を実行して(4ページ)、以下に進みください。

7 「デオソライズ」を選択して、[次へ]をクリックします。
以下の画面が表示されます。



YAMAHA Digital Mixer Software Installer

AE011 System Software Installer

コンソールからアクセスキーを消去するには、インストールまたはオンライン登録時に使用したPRODUCT IDが必要です。
CD-ROMケースのシールに表示されているPRODUCT IDを入力してください。

PRODUCT ID:

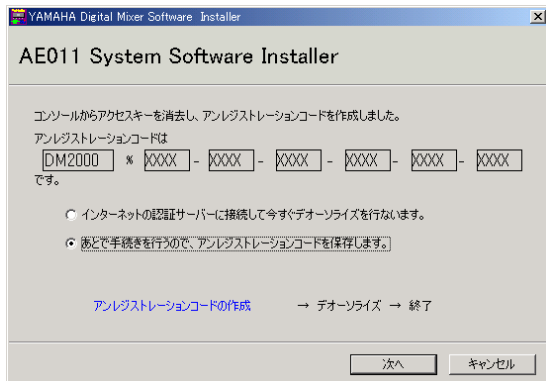
AE011 % - - -

[オンラインレジストレーションコードの作成](#) → デモソライズ → 終了

[次へ](#) [キャンセル](#)

8

- 10** 入力ポートに「YAMAHA USB IN 0-1」、出力ポートに「YAMAHA USB OUT 0-1」が選択されていることを確認して、[次へ]をクリックします。
- 「コンソールに接続中です」というメッセージが表示されたあと、アンレジストレーションコードが表示されます。Mac OS 9をお使いの場合は、入力ポートに「xxx-1(yyyyにはお使いのコンソール名が入ります)」, 出力ポートに「xxx-1(yyyyにはお使いのコンソール名が入ります)」を選択します。ただし、OMSのセットアップファイルによって、ポート名は異なります。



- 11** 「インターネットの認証サーバーに接続して今すぐデオソライズを行ないます」を選択して、[次へ]をクリックします。「デオソライズを行ないます」という画面が表示されます。
- 12** インターネットに接続できる準備ができていることを確認して、[次へ]をクリックします。認証サーバーに接続して、デオソライズを行ないます。
- 13** デオソライズが完了すると、以下の画面が表示されます。

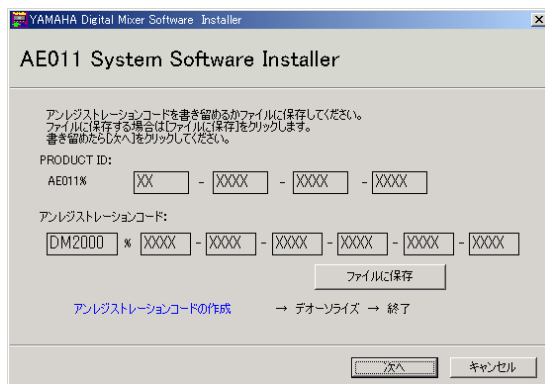


以上でデオソライズは完了です。このライセンスを別のコンソールにインストールする準備ができました。

間接デオソライズ

一度インストールしたAdd-On Effectsのライセンスを別のコンソールに移したい場合は、ライセンスをデオソライズする必要があります。コンソールに接続しているコンピューター#1とは別のコンピューター#2でインターネットに接続している場合は、以下の手順でデオソライズしてください。直接オソライズの手順1~10を実行して(8ページ)、以下にお進みください。

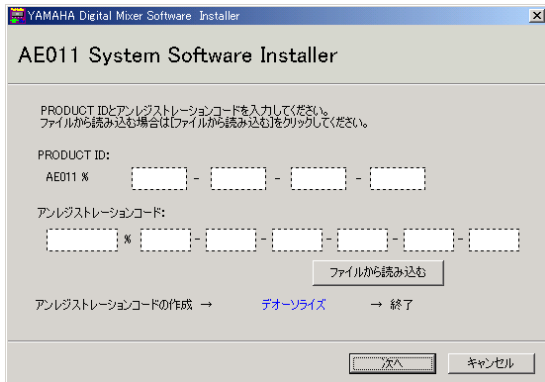
- 11** 「あとで手続きを行なうので、アンレジストレーションコードを保存します」を選択して、[次へ]をクリックします。以下の画面が表示されます。



- 12** [ファイルに保存]をクリックして、PRODUCT IDとアンレジストレーションコードをテキストファイルに保存します。紙に書き留めてもかまいません。
- 13** 保存したテキストファイルをインターネットに接続したコンピューター#2にコピーします。以下はコンピューター#2での操作です。
- 14** コンピューター#2で、付属のCD-ROMをCD-ROMドライブに挿入して、「Upgrade」フォルダ(Mac OS 9の場合は「Mac OS 9:Upgrade」フォルダ、Mac OS Xの場合は「Mac OS X:Upgrade」フォルダ)をフォルダごとハードディスクにコピーします。
- 15** ハードディスクにコピーした「Upgrade」フォルダの中の「DMUpgrade.exe(Mac OSはAE***UpgradeJ)」をダブルクリックします。インストーラーの画面が表示されます。

- 16** 「デオーソライズ」→「アンレジストレーションコードを既に作成してあります」の順に選択して、[次へ]をクリックします。

以下の画面が表示されます。



- 17** [ファイルから読み込む]をクリックして、手順12で保存したテキストファイルを読み込みます。
紙に書き留めた場合は、キーボードから入力してください。
- 18** PRODUCT IDとアンレジストレーションコードが表示されていることを確認して、[次へ]をクリックします。
「デオーソライズを行ないます」という画面が表示されます。
- 19** インターネットに接続できる準備ができていることを確認して、[次へ]をクリックします。
認証サーバーに接続して、デオーソライズを行ないます。
- 20** デオーソライズが完了すると、以下の画面が表示されます。



以上でデオーソライズは完了です。このライセンスを別のコンソールにインストールする準備ができました。

エラーメッセージリスト

入力エラー

- ・ **PRODUCT IDが間違っています。**
- ・ **レジストレーションコードが間違っています。**
- ・ **アンレジストレーションコードが間違っています。**
- ・ **アクセスキーが間違っています。**
- PRODUCT ID、レジストレーションコード、アンレジストレーションコード、アクセスキーの入力ミスがないかご確認ください。
- ・ **ファイルの中身が正しいデータではありません。**
- レジストレーションコード、アンレジストレーションコード、アクセスキーを保存したテキストファイルであることを確認してください。また、ファイルが壊れているかもしれないので、もう一度ファイルを保存し直してみてください。

コンソールへの接続エラー

- ・ **コンソールに接続できません。**
- コンソールの電源が入っていて、コンソールとUSBケーブルで接続されていることを確認してください。コンソールが通常モードになっている場合は、4ページの手順2にしたがってFLASH UPDATEモードにしてください。
上記に問題がなければ、コンソールの電源を入れなおしたり、インストーラーを起動しなおしたりしてみてください。
- ・ **このバージョンのソフトウェアは既にインストールされているので、インストールする必要はありません。**
- インストールを中止する場合は[インストールしない]、上書きでインストールする場合は[上書きインストールを行なう]をクリックしてください。特に問題がない場合は、インストールの中止をおすすめします。
- ・ **このアプリケーションはコンソールが対応していません。**
- コンソールがこのAdd-On Effectsパッケージに対応していません。システムソフトウェアがV2.0以上であることを確認してください(PM5Dでは確認不要)。ただし、必要なシステムソフトウェアのバージョンは、お買い上げのパッケージによって異なります。システムソフトウェアを最新版にアップデートすることでインストールできるようになる場合もあります。
- ・ **コンソール内のライセンス管理情報を初期化できません。**
- ・ **レジストレーションコードの作成に失敗しました。**
- もう一度インストールしてください。
- ・ **コンソール内のライセンス管理情報が初期化されていません。**
- レジストレーションコードを取得したコンソールとは別のコンソールにインストールしようとしていないかを確認して、もう一度インストールしてください。
- ・ **コンソールにアクセスキーが書き込めませんでした。**
- PRODUCT IDやアクセスキーに間違いがないことを確認して、もう一度インストールしてください。

- ・ **コンソールからアクセスキーを消去できません。アクセスキー発行の際に使用したPRODUCT IDではありません。**
PRODUCT IDを確認の上、再度デオーソライズを実行してください。
- PRODUCT IDがアクセスキーを取得したときのPRODUCT IDと同じであることを確認して、もう一度デオーソライズしてください。

認証サーバーへの接続エラー

- ・ **認証サーバーに接続できません。**
- インターネットに接続しているか確認してください。また、認証サーバーにアクセスが集中している場合があるので、時間を置いてからもう一度インストールしてください。
- ・ **PRODUCT IDが間違っているため、アクセスキーを発行できません。**
- ・ **レジストレーションコードが間違っているため、アクセスキーを発行できません。**
- もう一度PRODUCT IDまたはレジストレーションコードを確認してから、インストールしてください。
- ・ **このPRODUCT IDは、既にアクセスキーが発行されているため、新たにアクセスキーを発行できません。**
- このPRODUCT IDのライセンスは、すでに他のコンソールで使用中です。別のコンソールにインストールしたい場合は、お使いのコンソールのライセンスをデオーソライズする必要があります。
- ・ **アンレジストレーションコードが、アクセスキーを発行したときの情報と一致しないため、デオーソライズできません。**
- ・ **アンレジストレーションコードが間違っているため、デオーソライズできません。**
- もう一度アンレジストレーションコードを確認してから、デオーソライズしてください。
- ・ **このPRODUCT IDにはアクセスキーが発行されていないため、デオーソライズする必要はありません。**
- インストールしたときのPRODUCT IDをもう一度確認してから、デオーソライズしてください。

コンソール側のエラーメッセージ

以下のメッセージは、対応するシステムソフトウェアのインストールが完了していない場合に表示されます(PM5Dは除く)。

- ・ “Protocol Error ”
- ・ “Vendor Error ”
- インストーラーがFLASH UPDATEのバージョンを確認するときに、このメッセージが表示されます。故障ではありません。
- ・ “Please grant authority ”
- システムソフトウェアのアクセスキーが書き込まれていません。システムソフトウェアのインストールを完了することで、Add-On Effectsをインストールできるようになります。

トラブルシューティング

Q: コンピューターがコンソールに接続できない

- A: このインストーラーは、ヤマハUSB-MIDI Driver以外のドライバでは動作しません。あらかじめ、ヤマハUSB-MIDI Driverをインストールしておいてください。また、コンソールの画面にFLASH UPDATEと表示されてから、USBケーブルでコンピューターと接続してください。
- A: Mac OS 9をお使いの場合は、OMSをインストールして、セットアップしてください。また、正しいポートを選択しているか確認してください。
- A: 上記の設定に問題がない場合は、コンソールの電源を入れ直してください。

Q: コンピューターが認証サーバーに接続できない

- A: インターネットに接続されていることを確認してください。
- A: Mac OS 9.0をお使いの場合、OS標準の「URL Access」では動作しない場合があります。アップルコンピュータ社のダウンロードサイトから「URL Access」をダウンロードしてアップデートしてください。
- A: Windowsをお使いの場合、Internet Explorerの「インターネットオプション」→「詳細設定」で、「SSL 2.0を使用する」「SSL 3.0を使用する」「TSL 1.0を使用する」のうち1つ以上を選択する必要があります(標準設定では選択されていません)。

Q: アクセスキー、レジストレーションコード、アンレジストレーションコード、PRODUCT IDが正しくない

- A: お使いのコンソールおよびお買い上げのパッケージによって、すべてコードが異なります。別のコンソールまたはパッケージのコードを入力していないかご確認ください。

Q: アクセスキーを紛失した

- A: 再取得できます。CD-ROMのシールに表示してあるPRODUCT IDを確認して、もう一度インストールを実行してください。

Q: 別のコンソールにインストールしたい

- A: 一度インストールしたAdd-On Effectsのライセンスをデオーソライズして、別のコンソールにインストールできます。

ソフトウェアのご使用条件

弊社では本ソフトウェアのお客様によるご使用およびお客様へのアフターサービスについて、<ソフトウェア使用許諾契約>を設けさせていただいており、お客様が下記条項にご同意いただいた場合にのみご使用いただけます。

ディスクの包装を解かれた場合は下記条項にご同意いただけたものとさせていただきますので、下記条項を充分お読みの上開封してください。

ご同意いただけない場合は、未開封のまま速やかに(14日以内に)ご返却ください(ただし、本ソフトウェアをソフトウェアパッケージの一部として、またはハードウェア商品の付属ソフトウェアとしてお求めいただいた場合、本ソフトのみの返却はお受けいたしません)。

ソフトウェア使用許諾契約

1 著作権および使用許諾

弊社はユーザー登録されたお客様に対し、本ソフトウェアを構成するプログラム、データファイルおよび今後お客様に一定の条件付きで配布され得るそれらのバージョンアッププログラム、データファイル(以下「許諾プログラム」といいます)を、お客様ご自身が一時に一台のコンソールにおいてのみ使用する権利を許諾します。これらの許諾プログラムが記録されているディスクの所有権は、お客様にあります。許諾プログラム自体の権利およびその著作権は、弊社が有します。

2 使用制限

許諾プログラムは著作権を持つ情報を含んでいますので、その保護のため、お客様が許諾プログラムを逆コンパイル、逆アセンブル、リパース・エンジニアリング、またはその他の方法により、人間が感得できる形にすることは許されません。許諾プログラムの全体または一部を複製、修正、改変、賃貸、リース、転売、頒布または許諾プログラムの内容に基づいて二次的著作物をつくることは許されません。許諾プログラムをネットワークを通して別のコンソールに伝送することも許されません。

3 終了

本使用条件はお客様が許諾プログラムをお受け取りになった日に発効します。本使用条件による使用許諾は、お客様が著作権法または本使用条件の条項に1つでも違反されたときは、弊社からの終了通知がなくても自動的に終了するものとします。その場合には、ただちに許諾プログラムとその複製をすべて廃棄しなければなりません。

4 製品の保証

弊社は、お客様が許諾プログラムをお受け取りになった日から14日間に限り、媒体に物理的な欠陥があった場合には、その原因が事故、乱用、誤用など弊社の責に帰さない事由による場合を除き、無償で同種の良品と交換させていただきます。

5 責任の制限

弊社は、許諾プログラムの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生や第三者からの賠償請求の可能性があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

6 第三者のソフトウェア

弊社は、本ソフトウェアとともに、第三者のプログラム、データファイルおよびそれに関するドキュメンテーション(以下「第三者ソフトウェア」といいます)を提供する場合があります。別の規定に従い取り扱われるべき旨の記載が、本ソフトウェア付随のマニュアルに記載されている場合には、本使用条件にかかわらず、その別の規定に従い取り扱われるものとし、弊社によるアフターサービスおよび保証などについては、以下の規定が適用されるものとしめます。

弊社は、第三者ソフトウェアに関しての操作方法、瑕疵その他に関してアフターサービスを提供するものではありません。

弊社は、第三者ソフトウェアの商品性、および特定目的に対する適合性の保証その他一切の保証を、明示であると黙示であることを問わず、一切いたしません。第三者ソフトウェアの使用もしくは機能から生じるすべての危険は、お客様が負担しなければなりません。

弊社は、第三者ソフトウェアの使用、またはそれを使用できなかったことにより生じた直接的、派生的、付随的または間接的損害(データの破損、営業上の利益の損失、業務の中断、営業情報の損失などによる損害を含む)については、通常もしくは特別の損害に拘わらず、たとえそのような損害の発生があることについて予め知らされた場合でも、一切責任を負いません。

7 一般事項

本契約は、日本法の適用を受け、日本法に基づいて解釈されるものとします。

MEMO

MEMO

サービスについて

■損害に対する責任

この商品(搭載プログラムを含む)の使用または使用不能により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、その他の特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、如何なる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払になったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

■お客様ご相談窓口

ヤマハ P A 製品に関するご質問・ご相談は下記のお客様ご相談窓口へおよせください。

●お客様ご相談窓口：ヤマハプロオーディオ製品に対するお問合せ窓口

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

Tel: 03-5791-7678 Fax: 03-5488-6663 (電話受付＝祝祭日を除く月～金／11:00～19:00)

ONLINE support: <http://proaudio.yamaha.co.jp/>

●営業窓口

国内楽器営業本部 CA 営業部 営業推進課
PA・DMI 事業部 CA 事業開発推進部 営業課

☎ 03-5488-5472 〒108-8568 東京都港区高輪 2-17-11
☎ 053-460-2455 〒430-8650 浜松市中沢町 10-1

* 名称、住所、電話番号、URL などに変更になる場合があります。



この取扱説明書は
大豆油インクで印刷しています。

この取扱説明書は無塩素紙 (ECF: 無塩素系漂白パルプ) を使用しています。
この取扱説明書は再生紙を使用しています。

ヤマハマニュアルライブラリー
<http://www2.yamaha.co.jp/manual/japan/>

U.R.G., Pro Audio & Digital Musical Instrument Division, Yamaha Corporation
© 2004 Yamaha Corporation
WE05100 407IPAP1.2-01A0
Printed in Japan